Vol.54　マイナーキーでのコードとスケールの基本的な動き

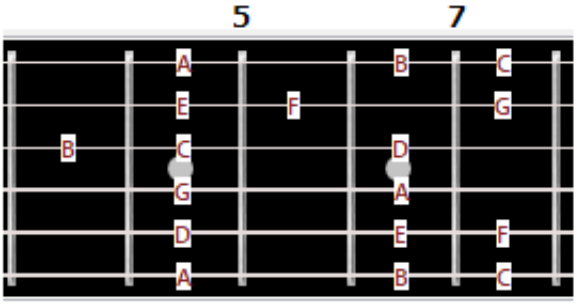
『10 分トレ』vol.54、始めていきましょう。

今回は、マイナーキーでの基本的な音の動きを弾いてみたいと思います。

まず、マイナーキーの場合、基本スケールはナチュラルマイナースケールですね。

ここではトニックを A 音に設定して、A ナチュラルマイナーで弾いてみましょう。

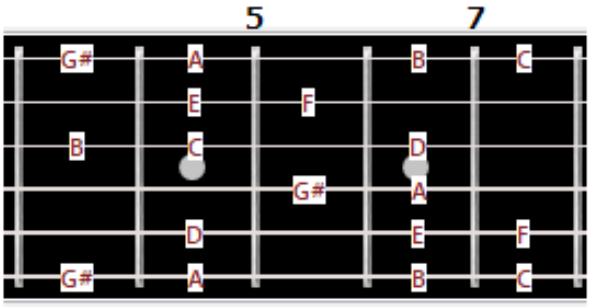
図 1、A ナチュラルマイナー、6 弦ルート、基本ポジション



次に、こちらは別途配布している【教科書】の vol.52 位から出てくるのですが、マイナーキーの楽曲の場合、スケールを『ハーモニックマイナースケール』に変化させる事があります。

こちらも A 音をトニックに、A ハーモニックマイナーで弾いてみます。

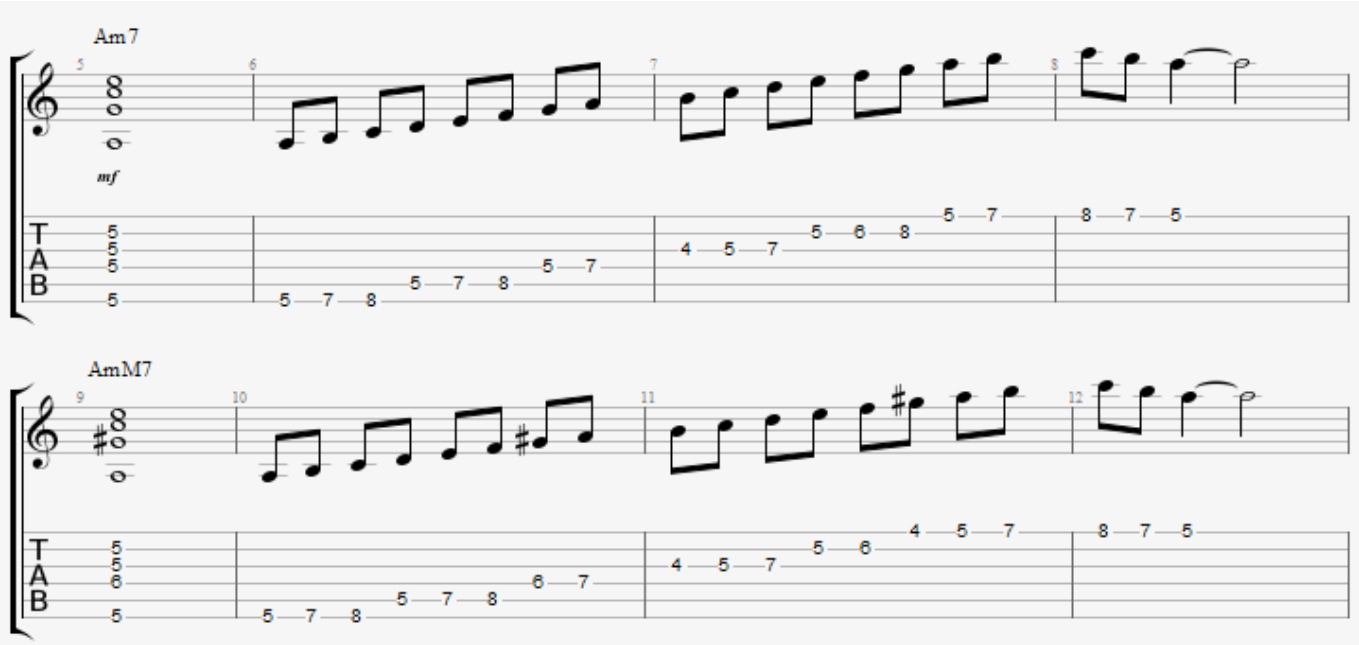
図 2、A ハーモニックマイナー、6 弦ルート、基本ポジション



そして、これらの違いを元に、素直に切り替えて弾いた譜例が以下になります。

譜例 1、A ナチュラルマイナー&A ハーモニックマイナー

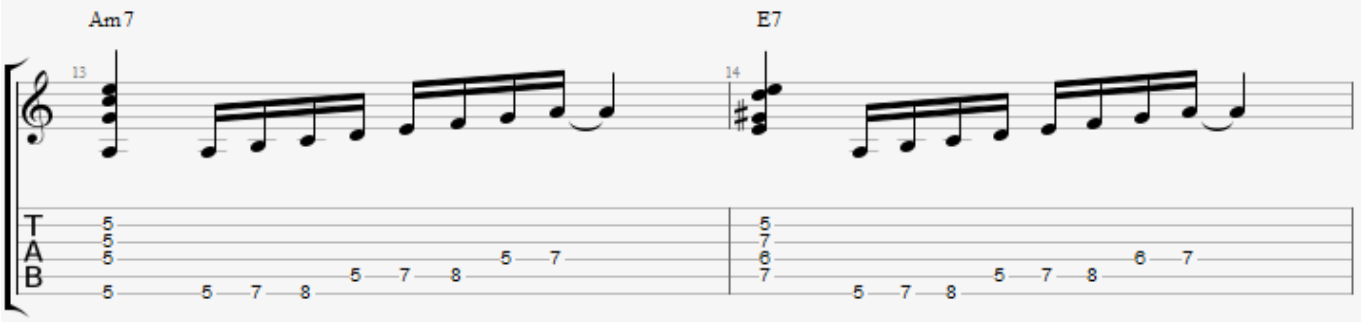
Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



この譜例は、トニックの A 音を基準に、単純にスケールを変えただけですが、楽曲中でハーモニックマイナーに切り替える事になるのは、主に「V 7 コード」の上ですね。

A マイナーキーの場合、V 7 は E7 になるので、その上で A ハーモニックマイナーを弾くことになり、それは実質、E ハーモニックマイナー P5th ビロウスケール(EHmp5↓)と同じことになりますね。

譜例 2、A ナチュラルマイナー ⇒ EHmp5↓(＝A ハーモニックマイナー)



譜例 2 では E7 の上でも A ハーモニックマイナー的に音をたどっていますが、E7 上でそれを弾くと、EHmp5↓スケールを弾いている事になります。

今回は、この辺りの切り替えを、Am7→E7 のループを作るなどして練習してみて下さい。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved